

■司会 森田 孟則〈沖縄県〉 沖縄県教育庁生涯学習振興課指導主事
白川 康子〈福岡県〉 迅務株式会社総務人事課主任

1. 地域づくりを目指す生涯学習ボランティアの養成

9:00～9:25

—その経緯と課題—

赤田 博夫〈山口県〉 下関市立吉田小学校教頭

われわれの生活基盤である地域には、青少年健全育成、環境美化、福祉や高齢者問題、生活向上などいろいろな問題が山積している。これらの課題にボランティアとして関わり、よりよい地域づくりを進めるためには、共に学び共に行動することが大切である。そこで、平成8年度から「生涯学習ボランティア養成講座」を取り入れ、地域に根差した草の根運動を展開することを試みた。2年間の取り組みの経緯、成果、課題について発表する。

2. 高齢者を主体とする野外教育の将来性 —全国シニアキャンプ大会を通して—

9:25～9:50

谷 正之〈福岡県〉 IEC国際理解教育情報センター福岡 代表

人と自然とプログラムとの出会いを数多く設け、いかに楽しさを見出して共有できるか、そこから生まれる明るさと活力を人生に反映していくためにはどう支援すべきかにポイントを置いて活動している。シニア（高齢者・熟達者）を主体として自由選択制を基本とし、地域の特性を活用するように努めている。地域住民・組織等との共働体制づくり、意識の変革などを含めて、多角的視点からとらえた成果と今後の取り組みについて報告する。

～ ティータイム ～

9:50～10:25

3. 地域のウォーク&ウォッチ —ある博物館とその周辺—

10:25～10:50

飯田 吉郎〈千葉県〉 元浦安市教育委員会社会教育主事

昭和初期、醤油醸造業で栄えた千葉県野田市は、同時に野田興風会で知られる民衆教育揺籃の地でもあった。現在、再開発によって伝統的な町並みが姿を消していく中での社会教育施設保存の動きをとらえる。そして改めて地域を観察し、生涯学習における一つの課題について考察する。

4. 地域に生きるユースフォーラム霧人

10:50～11:15

—2年間の成果と今後の展望—

東空比野和人〈宮崎県〉 みやこんじょユースフォーラム霧人 代表

2年前、都城市内の青年団体（勤労青少年ホーム、青年団、子ども劇場）に呼びかけて作ったのが、「みやこんじょユースフォーラム霧人」である。霧人には、①霧島盆地に住む人、②各人が地域の部品（パーツ、キット）となって町を盛り上げていこう、③きっとこれから〇〇しよう、〇〇できる、という意味が込められている。2年間で各自がやる気と自信が持てるようになり大きく成長した。その成果と今後の展望について発表する。

5. 総括討論

11:15～11:40